

感染症情報 9月3日～9日

府下小児科200医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	734例(堺市	31例)
②RSウイルス感染症	697例(堺市	70例)
③ヘルパンギーナ	293例(堺市	16例)
④溶連菌感染症	280例(堺市	28例)
⑤手足口病	144例(堺市	16例)

府下インフルエンザ定点305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	15例(堺市	2例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比3.3%増の2,427件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症、手足口病の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より5%減、堺市では前週より28%減であった。RSウイルス感染症は府下で前週より26%増、堺市で51例→70例は37%増であった。ヘルパンギーナは府下で前週より10%増、堺市で22例→16例であった。溶連菌感染症は府下で前週より6%増、堺市では前週41例→28例であった。手足口病は府下で前週より13%減、堺市では前週20例→今回16例であった。

インフルエンザが府下で前週12例であったのが、今回15例になっている。堺市は5例→2例になった。

麻疹の報告はなかったが、今回も風疹が2例あった。